

ステージゲート・プロセスを活用した R&Dテーマ評価・選定のマネジメント

1名分料金で
2人目無料

※この講座は職場や自宅のPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法は申込後にご連絡いたします。

- ◆日時: 2026年1月22日(木) 10:30～16:30
- ◆形式: ZoomによるWEB配信
- ◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき44,000円
- ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円)

HPはこちら ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260160>

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: ベクター・コンサルティング(株) 代表取締役社長 浪江 一公 氏

＜受講対象＞

本セミナーは、ステージゲート・プロセスについて初めて学ぶ方から、既にステージゲート・プロセスを利用されている方まで、広い階層の方を対象とします。

- ・研究開発部門企画管理者・担当者
- ・実際に製品開発・研究開発に携わる管理者・担当者
- ・新規事業企画・経営企画管理者・担当者 の皆様、など

＜講座の趣旨＞

ステージゲート・プロセスは、日本ではステージゲート法という名前で呼ばれていますが、ステージゲートは決して方法論ではありません。全ての企業のテーマ・マネジメントプロセスはなんらかの形で評価の場、すなわち「ゲート」が存在していますので、すでにステージゲート・プロセスの構造となっています。しかし、多くの企業において、テーマの評価の視点や意思決定の仕組みは明文化されていません。またステージゲートに関しては、日本企業の間で様々な誤解が存在しています。そのような結果、筋がさほど良くないテーマが滞留している、といったことが多くの企業で常態化しています。このように適正に行われていないテーマの評価を、評価の視点を決め、評価・意思決定の方法を定め、きちんとした仕組みとして運用していく必要性および効果には、極めて大きなものがあります。

また、本来のステージゲート・プロセスは、単にテーマのマネジメントを効果的・効率的に行うだけでなく、革新的な製品や技術を継続的に生み出すことを目的としています。

本セミナーではこのようなステージゲート・プロセスの本来の意味を紹介し、その後それらを踏まえた実際の各ゲートでの評価項目、ゲートでの議論の方法、その他運用法および体制についての議論を行います。

＜プログラム＞

1. ステージゲート・プロセスとは本来どのようなものか?
2. なぜ今きちんとしたステージゲート・プロセスが必要なのか?
3. ステージゲート・プロセスの誤解と正しい理解
 - (1) テーマを切るためのものではない
 - (2) 経営者の意思決定の代替ではない
 - (3) 進捗管理の手法ではない
 - (4) デザインレビューの一部ではない
 - (5) 「不確実性の高い初期段階には役に立たない」ものではない

4. 不確実性への対応としてのステージゲート・プロセスの10の工夫

- (1) 不確実性を低減する
工夫1: 積極的市場との対話
工夫2: フロントローディング 工夫3: 英知を集める
- (2) 不確実性を所与とする
工夫4: 多産多死 工夫5: 投資を段階的に増やす
工夫6: 評価の段階的精緻化 工夫7: 初期には迷ったら前に進める
- (3) 不確実性に起因する判断の誤りを所与とする
工夫8: 中止になっても非公式には継続の自由を与える
工夫9: 中止テーマに別予算を与える
工夫10: 中止になっても金庫に保存して活用

5. ステージゲート・プロセスの種類

6. ゲートの役割と評価項目

- (1) 不確実性対応のフレームワークを踏まえ具体的な活動にまで翻訳
- (2) ゲートの役割 (3) ゲートにおける評価項目の全体像
- (4) 評価項目1: 「プロジェクトの進捗度」
- (5) 評価項目2: 「プロジェクトの魅力度」に関する評価項目例
- (6) 各ゲート別評価項目(例) (7) クーパー案と本案の関係
- (8) 評価項目3: 「今後の課題・施策・計画・目標」
- (9) 「戦略」の構成要素との関係

7. ゲートでの評価と意思決定

- (1) 評価者の役割 (2) 誰が評価するか? (ゲート会議出席者)
- (3) 評価のタイミングは? (4) 誰が成果物(ゲート会議資料)を作るか?
- (5) プロセスマネージャーとは? 役割は? 誰になるか?
- (6) 議論・意思決定の3つのステップ(準備およびゲート会議の進め方)
8. ステージゲート・プロセスの導入事例(富士フイルム)
9. ステージの活動(成果物の作り方、情報源・情報収集方法)
10. 研究開発担当者のステージゲート導入に対する抵抗への対処法
11. 最後に: ステージゲートのその他の重要な意味
 - (1) コミュニケーションツール、見える化 (2) 研究者の事業化マインドを高める
 - (3) 評価者にとっての学びの場 (4) イノベーション創出への貢献【質疑応答】

『ステージゲート』WEBセミナー申込書

FAX: 03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXしてください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしていませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>